

原田 裕代

心に届くことばで

HIROYO HARADA

兵庫県知事公室・広報専門員



兵庫県庁舎前にて 撮影/池田年夫

兵庫県の第九代広報専門員として、開催が間近に迫る淡路花博「ジャパンフローラ2000」での広報活動にも、その活躍が期待される原田裕代さん。とくに堅苦しく捉えられがちな公の言葉をよりわかりやすく民間の立場で伝える、いわば県と県民の「心」をつなぐ存在である。

二〇〇〇年代最初の国際博覧会、淡路花博で兵庫県が目指したのは、関西国際空港建設等のため削り取られた地に再び緑を植え、自然を元の姿に還すことである。西宮市出身の原田さんには、「震災ですべてを失いつつも、立ちあがってきた県民の姿とだぶる」。だからこそ、「ただの博覧会で終わらせたくない。広報専門員として、本来の目的を正しく伝えることが兵庫県そのものの魅力を知つてもらうことにつながる」

夙川学院高等学校三年生のとき水泳の日本代表としてソウル五輪に出場、全日本大学選手権では四連覇を遂げた。「水泳があつたから今の自分がある」。スポーツを通して出会った感動、自らの精神の強さや脆さと向き合うなかで人間の「心」に強く興味を抱いた。「人の心に訴えられる仕事がしたい」。昨春までは東海テレビ放送のスポーツ局でプログラムディレクターをしていました。その精神は今も変わらない。兵庫県という舞台で、広報という仕事を通して「常に心に届く言葉で語りたい」

三月十八日には花博がスタートする。「自然のありがたさ、震災に負けない人々のパワー」。訪れるにはなにかひとつ、お土産を持ってかえってほしい」

(宇都宮)

寺本 督

21世紀0年ゼロから—新 —新たな神戸の創生—

TADASHI TERAMOTO

<2000年度神戸青年会議所理事長>



ポートアイランド北公園にて 撮影／米田英男

本年度の社団法人神戸青年会議所第42代理事長に就任。父の滉さんは第15代理事長を務め、神戸JC初の親子2代で理事長をすることになった。「気負わず、自分流の普段着のまま理長職を務めるつもり」と語る。経済的には崖っぷちに立っている生まれ育った神戸のために、何か役に立ちたいという思いが強いた。

本年の西暦2000年を21世紀0年と捉え、何事もゼロから一新するのにふさわしい年と考えている。「ポートビア'81やユニバーシアードでは、多くの市民が一つになり、街に誇りを持ち、あたたかいホスピタリティーで国内外からお客様を迎えた。もう一度、あの頃のように市民が自らの街に誇りと愛着を持てるよう、市民の意識を一つにし、そのうえで、新たな神戸の創生を目指すことが必要。多少の意見の違いがあつても構わない。市民が主役となり、街の将来像を考え、お互いにできることを話し合って、よりよい街づくりを目指したい」と抱負を述べる。

東から列車や自動車で神戸に近づくとき、遠くに青い六甲山のスカイラインを眺めると、「神戸に帰ってきたなあと感じます」。北の六甲山系、南の瀬戸内海。「こんなに自然に恵まれた都市は世界中でもまれなことでしょう。我々はこんな神戸の街を愛しています。そしてこの街とここに住む人々がいつも生き生きと輝いている世界に誇れる街、そんな神戸を我々の手で創り上げたいと思っています」

ある集い

風かおる&輝く女達 チャリティコンサート5 心輝く人間でいたい！



阪神大震災で、自らが被災しながらも、震災遺児支援十年を目指し、シャンソン歌手の風かおるさんと、夫でミュージシャンの灘波克行さんらが中心となつて毎年開催している：阪神・淡路大震災遺児に贈る「風かおる&輝く女達チャリティコンサート5」が昨年十一月二十六日新神戸オリエンタル劇場で行われました。今回で五回目（寄贈額は総額七四十円）、このコンサートのきっかけは：「震災ですべてが崩れ、ゼロに戻された時：『お前は生き残った、さあこれからどうする？』と神様に問いかけられた気がしました。私にできることは？ 音楽を通じて、励まし、心の傷を癒すこと。夫婦で曲をつくり、避難所や復興地へ行き、唄つた。遺児が五六十人以上いることを知り、「自分の子供が同じようになついたら」と思うと、何かせんにはいられなかつた」と風さんは言います。

昨年のコンサートには、東京からシャンソン歌手の石井好子さんと、元オリンピック選手の木原光知子さんがゲスト出演され、大変盛り上がり、お客様も大満足でした。毎年、遺児家庭の皆さんや、視力障害の皆さんを三百名招待しています。楽しみにして下さるお客様、そして震災遺児の皆さんのためにも、あと五回を頑張つてやります!! どうぞ、応援して下さい。そして会場へお越し下さいますように、宜しくお願ひ致します。（今年は十一月二十四日（金）新神戸オリエンタル劇場予定）

■連絡先／有限会社ウインド・ミュージックカンパニー
神戸市長田区片山町3丁目4・23
TEL 078・691・2260
FAX 078・691・2235

ある集い

宝地院大学忘年会

みんなでみんなを祝う会



鯉川筋を東に入ったところに「蛸の壺」というた
こやき屋さんがある。

主の木村憲吾さんと共に、店は話のわかる人間が
集まる神戸の「へそ」であり、宝地院の中川浩安和
尚さんも弟の安さんとよく来られていた。あるクリ
スマスの夜、僕「蛸の壺の常連で忘年会やつたら面
白いやろな」主人「暮れやからもう会場が無理やな
いかな」そこで思いついたのが宝地院さん、早速電
話をすると三十日ならよいと一発で決まった。忘年
会の名称を「みんなでみんなを祝う会」と決めた。
一九六〇年十二月三十日、僕等は来る人ごとに「な
にかお祝いことはありますか」と尋ね、言われる
ままに、時には無理矢理に各人の祝う題をおもしろ
おかしく巻紙に書きづらね、会場狭しと張りめぐら
した。江戸川乱歩賞（陳舜臣）、孫誕生、二階から落
ちて無傷、洋行から無事帰朝、課長昇進、開店、中
西勝・咲子＝結婚式（十年間まだ結婚式をしてなか
つたので）などなど。会は大いに盛り上がり、多士
済々次々に名句迷言名演技を乱射しながらお互いの
お祝いをした。

ところでこんな忘年会を毎年やろうということになり、翌年からは、すでにお寺で続けられていた宝地院釜めし会と浩安塾の方々も合体して、ますます充実した楽しい会になってきたのである。みんなで
みんなを祝いみんなが主役になる宝地院忘年会が、
御本尊薬師如来様のお慈悲の無限光に包まれて、さ
らに若々しく賑やかにいつまでも発展してゆくこと
を願つてやみません。

（代表 中西勝）

■連絡先／宝地院忘年会事務局
神戸市灘区長峰台2丁目1・1 106 小島知光
TEL 078・882・1098



↑兵庫県文化奨励賞授賞式
兵庫県公館にて'99年度兵庫県文化奨励賞の授賞式が催され、貝原知事からアーティス

ト7名に授与された

→多国籍クリスマスパーティー

兵庫県国際交流協会のクリスマスパーティーが12月8日ホテルコートで開催。ブラジルのアントニオ上野サンバウロ商工会議所会頭を始めとする使節団が参加。国際交流にふさわしいパーティーとなつた



'99ひょうご文化交流のつどい
主催(財)兵庫県芸術文化協会 協賛 芸術文化関係団体



↑兵庫県の文化交流
'99年度ひょうご文化交流の集いが、12月8日新神戸オリエンタルホテルで貝原知事を迎えて開かれた

えて開かれた



K O B E コウベスナップ S N A P



15周年記念「月刊オール関西」

Kansai Communication



↑日経新聞社懇話会
12月6日、日本経済新聞神戸支社の
懇話会が日経新聞鶴田社長を迎えて
開かれた



↑オール関西15周年記念パーティー
2月2日、ホテルニューオータニ大阪においてオール関西再刊15周年記念パーティーを開催。玉岡かおる＆上村多恵子の対談が話題を呼んだ。写真は中村雅子編集長による執筆陣の紹介風景



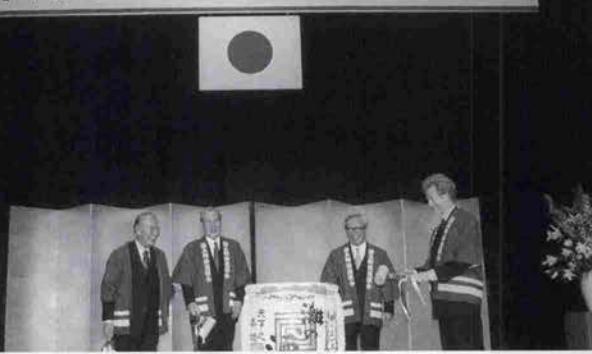
↓ミニアムのエンジエルパーティー
12月23日、神戸ネオトロピカル協会の
クリスマスパーティーが開かれた。ゲ
ストは関西マンドリン合奏団の川西優
和さんら



平成12年新年名刺交換会

2000年メモリアルモニュメント
「未来にゆく者達へ」完成記念式典

主催：神戸三選センター街2000年メモリアル実行委員会



↑2000年の幕開けを祝して

神戸商工会議所の新年名刺交換会が1月5日神戸ポートビアホテル南館で、約1000人を集め開催。貝原知事、笹山市長、キャンベル関西外国領事館会長、大場商工会議所会頭が描いぶみ

↑センター街でカウントダウン

12月31日センター街では、威勢よく樽酒でカウントダウンセレモニー。吉田隆さん作のブロンズ像もお目見えした

↓園田理事長を祝って

1月5日、兵庫信用金庫の園田正和理事長のお誕生日パーティーが神戸ポートビアホテル南館で開催。笹山幸俊神戸市長や、石井一・砂田圭佑両衆議院議員もかけつけた



←
1月7日 漢川神社新年祈願祭の式典が、引き続き神戸
市会議員による翁面掛け式が清々しく、おごそかに舞わ
れた



K O B E コウベスナップ S N A P



↓商店街にキリンさん！

12月11、12日、新開地本通り2丁目に移動動物園としてキリンやカバが商店街にやってきた。ヤギやウサギ、ボニーなど実際にふれあえるコーナーもあり、子どもたちの歓声が絶えなかった

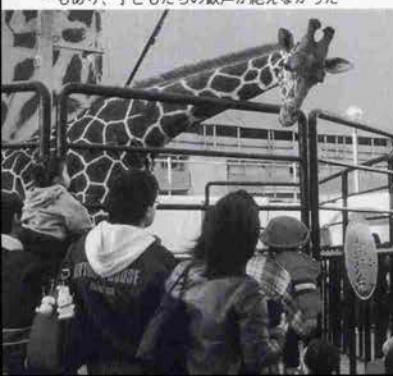
→第11回女流新人展と、99二紀会大忘年会
二紀会兵庫県支部の女流新人展の表彰式と忘年会が、12月25日兵生
田神社会館で開かれた。中西脇画伯演出の時代風刺「桃太郎と鬼
退治」も披露

←浜田泰介画伯個展開催
神戸ポートビアホテルのギャラリーで浜田泰介画伯の個展を開催。



↓トアウエストに新しいスポット誕生

トアウエストにループトアウエストが誕生した。3階建ての中
央に吹き抜けの階段部分を設け、眼鏡、時計、雑貨、ヘアメイ
クなど新たな流行の発信基地となりそうな店舗が揃っている。
12月20日には同ビル3階にあるイタリアンレストランのガレ
ットネロにデレクションパーティが開かれた。(写真は天成企
業株式会社賀来栄崇代表取締役)



■酒特集① 座談会

飲んで歌つて 良き友と良き酒を

●出席者

松本 幸三 〈声楽家〉
矢野 正文 〈作曲家〉
田淵 幸三 〈ピアニスト〉
小村 亮三 〈声楽家〉

アフター5まで仕事の話は持ち込みたくない、酒の仲間と仕事の仲間はまったく違うという人がいる。しかしここに集まつた面々は付き合いも長く、仕事を思いつきり、酒もとことん付き合うなんども不思議な仲間だ。酒につわる話は十年前の思い出からつい昨晚のことまで、つきることはなし。気の置けない仲間の酒談義をちょっとぞいてみた。

酒との出会い

小村 僕が酒を覚えたのは松本先生に教えてもらつたから。声楽家だから多くの人と同じように酒は控えてきたのに、それを松本先生と田淵さんに鍛えてもらつた(笑)。よく三宮に飲みにつれて行つてもらつて、それで強くなつた。

松本 僕は料理屋で育つたから、小さいときから爛の残りをチビチビとやつたりして鍛えてきたね。兄貴とおふくろとよく三人で飲みに行つてたしね。

矢野 お酒を初めて飲んだのは大学一年の頃、姉の結婚式の時やつたと思う。飲みすぎてフラフラになつて、廊下をまっすぐ歩けんかつたわ(笑)。

田淵 昔は無茶なことも多かつた。毎日本ホールで開いたゴールデンコンサートの合わせの時に、松本さんケンカして来はらんかったでしょ。その後、お詫びの印や言うて、神戸で店販切つて飲ましてくれた。四斗樽置いてくれてね、お酒を口にしたことがあんまりなかつたから、「ウイスキーの方がいいな」って言つたら、ママさんが「あんたの責任で飲みよ。」言うて、ダラマを一本あけてくれたんよ。それで飲んだもんやから、後はどうなつたかわかるでしょ(笑)。気がついたら、どこかわからんとこに寝てて、横にネコが一匹(笑)。そしたらママさんに、迎い酒や言うてウイスキーをコップ一杯、ストレートで飲まされた(笑)。そんなんでも酒が強くなつたんかな。

小村 昔はそんなことが多かつた。最近は酔っぱらつてもケンカしなくなつたし。昔は僕ら、よう止めに入つたけどね。

田淵 トムキャントイでもよう飲んで、ケンカもしたね。素人さんで歌の好きな人は多いから、それが受けたりする松本先生はアカンねん。その受けをお客さんに「アンタ素人やのに結構上手やな」とか言わることもあつたし。私やつたら「そうですねん、好きですねん」。言うてアホになれるんやけど。松本先生はアカンね、向かつていきはねん。ほんまはそれぐらい元気やないと松本 でもそれは昔のこと。カラオケ教えてうるさなつた(笑)。

田淵 二、三曲は歌えるようになったら小村 僕は静かに飲むよ。

松本 でもそれは昔のこと。カラオケ教えてうるさなつた(笑)。

田淵 歌いながら飲んでたら悪酔いしない。歌つて踊つて発散して。田淵さんは楽しいけど、それすると次の日腰が痛い(笑)。

小村 ワンパターンやけど(笑)。

田淵 足とか上げてがんばつてその日は楽しいけど、それすると次の日腰が痛い(笑)。

カラオケにはカラオケの歌い方が



小村亮三さん

矢野正文さん

田淵幸三さん

松本幸三さん

小村 マイクハナサーズやね。若い人にモテるような歌をよう知ってる。

矢野 飲みに行って歌う時はカラオケが全盛やけど、生演奏で歌える店がもうとほしいね。

松本 カラオケは決まつたとおりに歌わなあかんから、欲求不満になる。

矢野 ウィーンのホイリゲ地方に行くと、ワインを飲みながらバイオリソやギターを弾いたおっちゃんがテーブルに回つてくる。これが実に楽しい。

松本 カラオケで歌つて、「あんたはプロやから上手くて当たり前」とか言わるのは心外やね。演歌は演歌で歌い方を勉強しないと歌えないよ。失恋した時に歌謡曲聞いたら泣けるね(笑)。

田淵 失恋つてだましてるほうもあるんとちやう(笑)。

松本 いや、捨てられる方や(笑)。

田淵 クラシック家がみんなこんなんや思われたら困る人も多いね。

松本 でも、クラシックやつてるからという理由で飲まない人が多いけど、誕生日したところで「反対にいい歌が歌えりかどうか疑問やね。酒も飲み、女にも憧れ、それでえんちやうかな」。

小村 そう思つたら、ほんと付き合いのいい人はあんまりいないね。

松本 そうそう、先輩で飲みに連れてつてくれた人はおらんね。だから、

田淵 様が始めた。

田淵 松本さんの個性に圧倒されて、誰も連れて行かれへんかったのとちやう。でも、小村さんは雄弁になつたね。

小村 どつちか言うたら無口な方やつたからね。

松本 これはやつぱり、飲んでるからよ。飲んで歌つて発散して(笑)。

小村 酒を通じてか、音楽を通じてからへんけど、これまで仲良くしてこられるのは珍しいね。時にはケンカもしたりするけど、最終的にはみんな仲いいからね。

松本 女性の好みがかちあつてないのがいいのかもよ(爆笑)。

田淵 だけは帰つてたからね。

田淵 僕なんか起きたら、なんやせまいとこにおつて、トイレに行つてもどこかわらへん(笑)。外に出てみて初めてサウナにおつたんや(笑)、なんてこともあった。

松本 家に帰るよりサウナに泊まつた方が安かつたからね。

田淵 でも、ひどいのは松本さん。夜の十時三十分頃、雪の降つてゐる年末にね、松本さんから呼び出されて、電車乗つて三宮に着いたら十二時ちょうど前ぐらい。それで飲み出して十五分ぐらいしたら「ほんなら、タブッちゃんとおやすみ」言うて、松本さん帰りようねん。それこそ電車ないからサウナでも泊らなしうがなかつた。そんなこともあつて、サウナのおばちゃんに顔覚えられてたし。

松本 キヤンティは遅くまで開いてたからよく行つたね。トムキヤンティになつて客層が若くなつたつて感じだけど。他に、ピアとか八木とか行つてたね。若い時ははしごしてたけど最近は一軒ぐらいやね。

良き友と良き酒を

矢野 タバコはやめられてもお酒はやめられへんね。

松本 食事する時はワイン、鍋にはやっぱり日本酒。

小村 最後に飲むのはウォッカ、ジンやね。

松本 最初は安い焼酎のロックでね。

田淵 でも最近は値段の高い焼酎も増えてるよ。

松本 学生の頃はエチルかメチルかなにかわからんのを飲んでた。角瓶やダルマなんて手が出なかつたし。

小村 ハイボールが流行つてね、バーボンやズブロッカとか教えてもらつて飲んでたね。

矢野 今は冷酒やね、寒くとも冷酒。

ワインもイタリア料理とかフランス料理のときには飲むね。

松本 フランスワインが昔は多かつたけど、今はいろんな国のが飲めるから楽しい。昨日飲んだオーストリアのもおいしかつたわ。でも家では飲まないね。外でワーッとね。

小村 良き友と語らう時に飲むお酒。やつぱりこの時が一番幸せやね。

酒は心なごますもの

松本 震災の時はよう飲んだね。学校

も休みやし、飲み屋に行つたら片付けとか言うて飲んでた。

田淵 梅田の地下とかにあつた串カツ

で一杯飲むところとか、昔はなんでこんなところで飲むのかわからんかつたけど、今ならわかる。ちよつと一杯飲んだら、仕事の疲れとかがさつとなくな感じがする。

松本 今どきの店は、お金払つてまで客のほうがサービスをする感じやね。そんなわざらわしい人間関係があるんやつたら、ショットバーみたいな所で気楽に飲んでる方がいいかもね。

田淵 接客業の人はもつといろんな勉強をして、お客さんに話題豊富に接してほしい。

矢野 飲んで歌うのは気持ちいいけど、でも、飲んだら作曲はできへんね。気が大きくなつて、もう明日でええわつてことになる(笑)。

松本 酒は百薬の長。お酒飲んだら歌いたくなる。歌う心があればジャンルは関係なし。酒は心なごますもの、心ゆるめるもの。こんなところも音楽と一緒にやね。

酒も音楽も楽ししんじで

矢野 ほんま、音楽家でこれだけ飲む仲間は他におらへんね。

松本 たいていの人は酒はのどに悪いとか、クラシックやつてる者が流行歌は歌われへんとか言うけど、飲みなが

ら演歌聞いて、フィーリング勉強することもあるしね。ドイツでは、ピアホルでみんな歌つてるし。

田淵 イタリアだつたらカンツォーネとか。

小村 シューベルトの歌曲の中でも、作曲されたのがウィーンの酒場だったりするし。

田淵 演歌を聞いて感動すると、クラシックを聞いて感動するのは同じことやからね。それぞれの心に響く歌があつて当然だから、それに優劣はない。

小村 これからクラシックはそういう意味でも音楽に対する考え方の幅を持つてないだめになつてしましますよ。

田淵 そのためにも音楽家同士だけで付き合わずに広いジャンルの人とお付き合いをして、視野を広げるべきやね。

松本 画家の人と会つた時なんて、実際に豪放で自分のすべてを表現するようなところは実に刺激的やつた。

田淵 同じ専門の人だけで固まつても、これからは流行らない。

小村 どんなジャンルでもいいものはいいもんね。人生も酒も音楽もおんなじように楽しみたいね。



神戸ファッション市民大学OBによるグループ 神戸のファッション都市化をめざす

K.F.S. NEWS

コウベ ファッション ソサエティ

205

事務局／神戸市中央区下山手通3-1-18
ツインズアビル4F 月刊神戸っ子内
TEL. 078-331-2246
FAX. 078-331-2795

K F S メンバー田中謙司さん「労働大臣卓越技能章」を受章

元K F S会長の田中謙司さんが神戸テラーラとして栄えある「労働大臣卓越技能章」を受章し、その受賞祝賀会がホテルオーネクラ神戸において、12月12日の日曜日に開催された。

開会の辞は横山忠世（兵庫県洋服商工協副理事長）氏が。発起人代表は中井井佐造（兵庫県洋服商工協会会長）氏でタキ



後列左から3人目が田中謙司さん

シードスタイルも優雅。

田中謙司さんは、親子二代の受章とあって喜びもひとしお。

メッセージは貝原知事代理（木村義人氏）、笛山市長代理（鶴崎功氏）。政治家の石井一、砂田圭介、奥谷通衆議院議員と、立石幸雄兵庫県議会議員、平野昌司神戸市会議員。最後に中井弘氏（全日本洋服協同組合連合会副理事長）

と盛りだくさん。

受章の田中さんは神戸マイスターとしても活躍。さらなる飛翔を願って太田好雄兵庫県洋服商工協会副理事長が裏方役に徹したとのことで、業界全体にとってもこの受章の喜びは大きい。

「現代の名工」田中謙司氏
労働大臣卓越技能章受賞記念祝賀会



祝賀会は乾杯の音頭を全日本紳士服デザイナー協会会長小川光夫氏。アトラクションには生田神社の獅子舞保存会が登場。会場を盛り上げた。K F S 25周年にヒットを飛ばした田中さんは、よく学び、よく遊び、クリエーターとしても円熟度高く、内助の功もあって、「社会公共のために最善の努力を尽くします」と今後の活躍が楽しみだ。

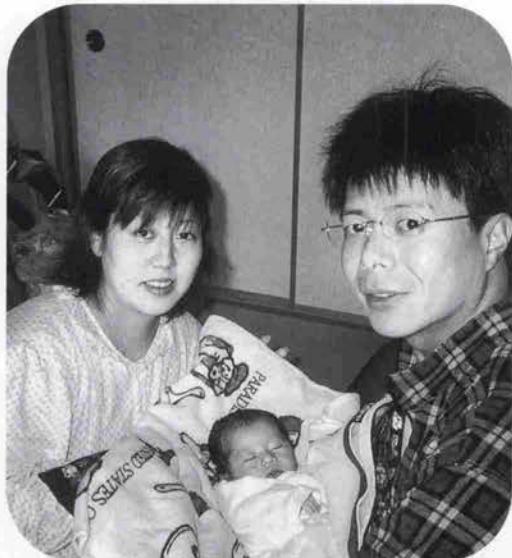


ママといっしょに

あかちゃん：富井健太郎 ちゃん
(平成11年10月9日生まれ)

父：徳明 さん
母：祥子 さん

「早く大きくなってキャンプや海に遊びに行こうね！
楽しみにしてるよ！」



★佐本産科・婦人科★ 佐本 学

神戸市兵庫区中道通4-1-15
TEL:078-575-1024 (病室TEL:078-577-7034)

市バス上沢4停南スグ
●駐車場完備●

二〇〇〇年神戸酒徒番付選考座談会

西／経済人／審査員

木下 健
（三富商店 取締役社長）

角田 嘉宏
（有吉特許事務所 所長）

西 正興
（ユーハイムコンフェクト 代表取締役社長）

前田 篤良
（神戸新聞社 論説副委員長）



角田 嘉宏さん



木下 健さん



前田 篤良さん



西 正興さん

新世纪を前に活気づく神戸経済界

—震災から五年たち、神戸の経済界も大きく地図を変えようとしています。

さて、今年は二〇〇〇年。その幕開けにふさわしく、審査員に新しい顔ぶれを交えて、昨年一年間に活躍の目立った方々を紹介していただきましょう。ただし、例年の通りこの番付では六十五歳を定年とさせていただきます。

復興の動きも活発 震災から五年ひと区切り

A 総じて二〇〇〇年は景気が上がるといわれていますが、中小企業にとってはさらに優劣がはっきりしてくる年でしょうね。

B しかし、昨年は逆風の中でも、前向きな動きをしている企業が多くた。

大きなところでは、住友ゴムの浅井光昭は昨春社長になつたばかりで世界五位のゴム会社グッドイヤーと提携した。また、コーポこ

うべは赤字決算の建て直しに五十五歳という、若手の小倉修悟を抜てき。これも期待できるだろう。A 住友ゴムはせつから本社が神戸にあるのに、いまひとつ地元の人々になじみが薄いようです。

D 昨年の神戸のビッグニュース

といつたら、四月に国際会館が復興オープンしたことかな。三宮に活気が戻ってきて嬉しいよ。

C 西村屋の西村理がそこに新しい形態の日本料理屋をオープンさせたね。

D ネスレ日本も三宮に戻ってきた。セルフのカフェが若者に人気だそうだよ。九月に社長になつたW・H・ライヘンバーガーが指揮を執っている。

A 南京町の華僑パワーも見逃せない。中華ステップの味覇で有名な廣記商行の鮑悦初は摩耶埠頭に巨大な営業センターを立てた。

B コスマボリタン製菓ではV・モロゾフが新社長に就任した。ここは、大正十五年以来手づくりのチョコレートを作り続けている、神戸洋菓子の真面目といえる。

D 婦人帽子のマキシンも今年六十周年を迎えるそうだ。女性社長の渡邊百合が頑張っている。

B ポートピアホテルでは中内仁が社長になつたね。

C この人はコーン威尔大学をでて本格的にホテル経営を勉強したらしいね。てがたくやつていてるよね。

D 清酒の方では、灘五郷酒造組合の理事長に小西酒造（白雪）の小西新太郎が就任した。ここは地ビールも扱っている。

二〇〇〇年神戸酒徒番付選考座談会

東／文化人／審査員

有井 基
（神戸史学会代表）

岡田 弘
（元町画廊社長）

武田則明
（建築家）

全体的に大人しかった一九九九年、
二〇〇〇年に期待を込めて



岡田 弘さん



有井 基さん



武田 則明さん

「神戸ワインサミット'99」の
シンボルマーク

—飲む仲間で、一九九九年を振り返っていかがですか。

A 年末のルミナリエは昨年も賑わっていたけれど、年間通してなんだか元気がなかつたね。活気がなかつた。一九九九年で、サンキュー（3×9）の年だつたんだけど、サンキューベリーマッチの“ベリーマッチ”がなかつたと言つた人もいたね。

B 人間臭い催しがなかつたというのはあるだろうね。杓子定規な行事はあるだけれど。

A イチローの結婚ぐらいだけはなかつこよかつた。

B ヴィッセル神戸もいいところまでいった。

C 関西学院大学がアメフトで優勝したね。

A あれは久々の優勝だつたね。京大や立命館が強かつたからね。

A それから昨年は、トルコや台湾でも地震があつて、いやでも震

災を思い出させられましたね。

C 震災五年目で、仮設住宅がまた役に立つなんてね。

—それでは番付に入りましょう。

毎年顔ぶれが代わった方がおもしろいので、今年企画が光つていた人は入れて、あまり振るわなかつた人は落とすようにして。まず上位二名からどうでしょう？

A 谷川浩司は、タイトルを落としたけれどトップだろうな。

B 百万円の映画を作つたり、震災後のマンション再建の本を出したりと、大森一樹は今年も頑張っていたね。シンポジウムでの喋り



1999年末の日本を沸かせたイチロー選手の結婚

もおもしろい。

A イチローは結婚したし、横綱に昇進だろう。彼はガッツのある顔をしているね。

C 阪神にも出てきてほしかったな。前半だけだったからね。でも経済効果は凄かったし、こちらは来年に期待するとして。

A 平尾誠二は、成績は悪かったけれど全日本の監督。二〇〇〇年も頑張つて。



1999年の神戸っ子たちを振り返る審査員

C 神戸ワインサロン三〇周年記念として、五月に「ワインサミット」が開かれた。ワインの試飲会や、国際的なメンバーでシンポジウムをしたりとすばらしいものだつた。ここでは日本ソムリエスクールの塩原一正が先頭に立つて頑張つていたね。

A 杉山知子は、トアロードのブルジル移民センターでアートエイド的な活動をしていたね。

A 「花咲かばあさん」天川佳美は、「ガレキに花を咲かせます、ガレキから木へ」と言つて、花を植えて、昨年はその活動をまとめた本を出した。

C 昨年、未生流中山文甫会の中山景甫が兵庫県いけばな協会の会長になつた。今年はジャパンフローラがあるので、期待を込めて名前を挙げたい。

A わづくんこと涌嶋克己も、新開地などで震災復興の企画を頑張つていたね。

B 榎忠や植松奎二も精力的な活動をしているね。でも彼らには、もう少し神戸で個展をやつてほしいなあという気もする。そういう企画も必要だね。

C 音楽では、父の後を継いで朝比奈千足も頑張つてている。評論家

として響也も全国的に活躍しているね。

B ジャズでは綾戸智恵。彼女は、昔チキンジヨージで歌つていて、デビューニーでCD四枚目、キ

ヤリアはある。

C 村上美穂は画家だけれど、神戸シャンソンフェスティバルのプロデュースなどで活躍していた。

A 宝地院の二代目、中川正興和尚も頑張つていた。

—番付には登場しなくてもたくさん名前が挙がりましたね。

神戸らしく国際色豊かな顔ぶれ

—最後に三賞を選んでいただきましょう。

C 美容室「アレックス」のアレックス楊と、まちづくりで活躍する梁建緯が組んで、旧「ピック映劇」をシアターレストランという新しい空間に生まれ変わらせた。

A 梁はトアロードクラフトアートフェア実行委員長として、風月堂のロドニー賞も受賞したね。エネルギーッシュな彼に殊勲賞を。これからも街をひっぱつていってほしい。

C 「ワインサミット」には全国か

ら客が集つた。塩原には敢闘賞をあげたい。

A 紳士服オーダーサロン「ケント」の神戸マイスター田中謙司が労働大臣卓越技能章を受賞したね。

B それは本年度技能賞だろう。街に刺激を与えるということでのこの三人の受賞は意味があると思

(文中敬称略)

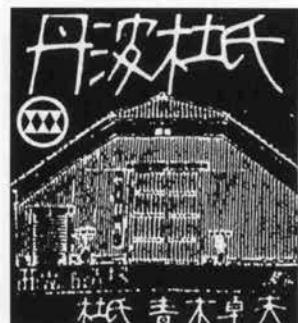


「チャイニーズレストランTAOシアター」オープニングセレブレーションで梁建緯さんとアレックス楊さん



神戸酒

杜氏とは酒を造る職人の頭ですが、酒造りの職人を総称して杜氏と呼ぶこともあります。丹波地方は、日本最大の杜氏出身地で、江戸・宝暦年間ににおける記録が残されています。丹波出身の杜氏の手によって銘酒・小鼓は醸造されています。



兵庫県氷上郡市島町中竹田
(株) 西山酒造場

神戸のアーバンデザイン②

—神戸の震災復興について—



武田則明
(建築家)



震災復興の過程でみられた風景。空き地とプレハブばかりだった

阪神淡路大震災から五年の年月が流れた。あの瓦礫と焼け跡の痕跡は見当たらない。町並みは見通しがよく、青空ばかり目立つた。何もかも失ったが、妙に明るく、自由でお互い少ないものをわかち合い、助け合い、まるで原始共産社会のような雰囲気があった。

次々に復興住宅が立ち並び、新しくできた道路と建物だけがビカビカ光り、そして見通しの利かない町並みが再現された。そしてあの原始共産社会も消えてしまつた。少し道が広くなつた、二階建ての町並みが三階建ての町並みになつた。申し合わせたようにコロニアル葺きの屋根とサイディングの壁の町並みが形成された。まるで住宅展示場のようだ。軽そうに見え、地震には強いかもしれないが、耐久性に欠ける。二十年ぐらいしか耐えない仮設のように見えた。

いまだに多くの空き地が残されていることに気づく。野田北部のように市民の自立と、専門家の協力とボランティアの活動のために、すばやくまちづくり協議会が結成されたところは例外的に恵まれたところといえるだろう。復興のために公的には再開発事業と区画整理事業の二つの手法しか持ちあわせていない

阪神淡路大震災から五年の年月が流れた。あの瓦礫と焼け跡の痕跡は見当たらない。町並みは見通しがよく、青空ばかり目立つた。何もかも失ったが、妙に明るく、自由でお互い少ないものをわかち合い、助け合い、まるで原始共産社会のような雰囲気があった。

次々に復興住宅が立ち並び、新しくできた道路と建物だけがビカビカ光り、そして見通しの利かない町並みが再現された。そしてあの原始共産社会も消えてしまつた。少し道が広くなつた、二階建ての町並みが三階建ての町並みになつた。申し合わせたようにコロニアル葺きの屋根とサイディングの壁の町並みが形成された。まるで住宅展示場のようだ。軽そうに見え、地震には強いかもしれないが、耐久性に欠ける。二十年ぐらいしか耐えない仮設のように見えた。

いまだに多くの空き地が残されていることに気づく。野田北部のように市民の自立と、専門家の協力とボランティアの活動のために、すばやくまちづくり協議会が結成されたところは例外的に恵まれたところといえるだろう。復興のために公的には再開発事業と区画整理事業の二つの手法しか持ちあわせていない

い。私は神戸市住宅局と、地震の三年前からインナー長屋をどうやって建て替え、改善していくのかを研究していた。それがあつたからこそ、こんなに早く、まちづくり協議会が立ち上がり、建築家やタウンプランナーの助けを受けて町づくり計画ができるのだと自負している。

まちづくり計画はそこに住む市民がみずから作り、それを市長が認める形をとっている。そのための飴玉として建築基準法の、例えば建ぺい率や道路斜線の緩和など、が行われる。このようないかん考案を先の研究では進めていた。しかし他の区画整理事業は五一六十九%ぐらいしか進んでいない。更地が目立つが資金力が少ないので、または権利関係が錯綜しているためなど、問題を抱えた土地であろう。このような場合、共同化を図ると定期借地権つき住宅を建て、安く住宅を供給する、地主には地代が入ってくるなど、新しい手法を使いつら進めないと区画整理事業は後二三十年かかるだろう。残された地域を見捨てるのはなく、眞の復興に向けて本腰を入れて頑張らなければならぬと思う。弱い人々、弱い町が復興して眞の復興といえ

計画工房 INACHI
まちなかに住もう

神戸のモダンリビング⁽²⁾



▲道路面は3階分で壁にならないよう
分節されている

なる

▼玄関内部のベンチ



高月昭子

(計画工房INACHI)

この地に永く住み続けてきた方たちはすべて、家を建て直すか移転するか、何らかの動く手立てを考える必要に迫られている。我々が関わったこのケースは、代々の地主の元二十一戸の借地権者が露地に軒を並べて東西採光の住まい方をしてきた典型的な旧の町屋であった。一戸十五～二十坪前後の底地に建つ住まいの行く末をどうするかが我々に課せられた命題である。

費用負担を押さえるため、デベロッパーや施工業者を入れることなくすべて権利者の手作りの実費でやりましょうという提案を受け入れてもらった。

区画整備の換地場所の選定から係わり、権利関係の調整ですべて所有権として、地主も含めて十七戸の住宅と二戸の店舗をもつ共同化が実現した。

単に建物を設計管理するだけでなく、共同化に参加してもらつて今までと違った住まい方に移行してもらうために、全体をコーディネートとする役割は全幅の信頼を得られないと達成で

前から区画整理事業が進められていて、地下鉄開通は中心地への距離をいつきに縮めることになる。

この地に永く住み続けてきた方たちはすべて、家を建て直すか移転するか、何らかの動く手立てを考える必要に迫られている。我々が関わったこのケースは、代々の地主の元二十一戸の借地権者が露地に軒を並べて東西採光の住まい方をしてきた典型的な旧の町屋であった。一戸十五～二十坪前後の底地に建つ住まいの行く末をどうするかが我々に課せられた命題である。

費用負担を押さえるため、デベロッパーや施工業者を入れることなくすべて権利者の手作りの実費でやりましょうという提案を受け入れてもらった。

区画整備の換地場所の選定から係わり、権利関係の調整ですべて所有権として、地主も含めて十七戸の住宅と二戸の店舗をもつ共同化が実現した。

単に建物を設計管理するだけでなく、共同化に参加してもらつて今までと違った住まい方に移行してもらうために、全体をコーディネートとする役割は全幅の信頼を得られないと達成できなものだ。

このたびはすべてを任せていましたが、全戸が南面する好条件の住まいが実現した。また、特にとお願いして地域で評判のお医者様にも店舗部分に入居いただいた。他の店舗や地主の持ち分の戸主を売ることも含め、できるだけの尽力をと走り回始めたのも信頼に応えたい気持ちがなせる技である。

建物は表通りから一皮入つているため、一戸建ての換地と隣接する事を意識した。北道路と東面は三階の高さで廻し、庄迫感を押さえ五階を感じさせないよう考えており、長い壁面の連続が街並みに馴染むよう、共同スペースが顔を出し街路樹の緑と重なるよう、狭いところにも精一杯木を植えた。

慣れ親しんだ便利な町中で、より安全に快適に年老いても住み続けられる事をテーマにして建てられたこの共同住宅は震災後の住まい方を模索する中で生まれた「思い」のテストケースになつたと考えている。